

第3回 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

日時：令和5年1月19日（木）午後6時30分～

会場：教育会館 ぎんが

次 第

1 開 会

2 会議録の確認

3 部活動地域移行のあり方検討（目指すべき地域移行の方向性）

（1）「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」について 資料1

（2）地域資源を活用した地域クラブ活動等のパターンについて 資料2

4 地域移行に伴う諸課題について

検討部会の意見より 資料3

5 報告書の考え方について

資料4

6 その他

（1）次回以降の日程について

（2）その他

7 閉 会

※次回以降開催予定

第4回 日時：令和5年2月14日（火）午後6時30分～（予定）

会場：教育会館 ぎんが

第5回 日時：令和5年3月30日（木）午後6時30分～（予定）

会場：教育会館 ぎんが

■配付資料

- 【資料1】学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】
- 【資料2】地域資源を活用した地域クラブ活動のパターンについて
- 【資料3】地域移行に伴う諸課題について（検討部会の意見より）
- 【資料4】「世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会報告書」項目案

■基礎資料（机上ファイル）

- ・参考資料1 運動部活動の地域移行の関する検討会議 提言（スポーツ庁）
- ・参考資料2 文化部活動の地域移行の関する検討会議 提言（文化庁）
- ・参考資料3 「未来のブカツ」ビジョン（経済産業省）
- ・参考資料4 世田谷区立中学校における部活動の方針
- ・参考資料5 部活動支援員の手引き
- ・参考資料6 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像（イメージ）

学校部活動

【位置付け】**学校教育の一環**（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付



学校部活動の地域連携

■ **合同部活動**の導入や**部活動指導員等**の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	部活動指導員等、関係校の教師 （※アスリート・アーティスト等の人材を含む）
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■ 少子化の中、持続可能な体制にする必要
（学校や地域によっては存続が厳しい）

■ 地域の実情に応じた段階的な体制整備

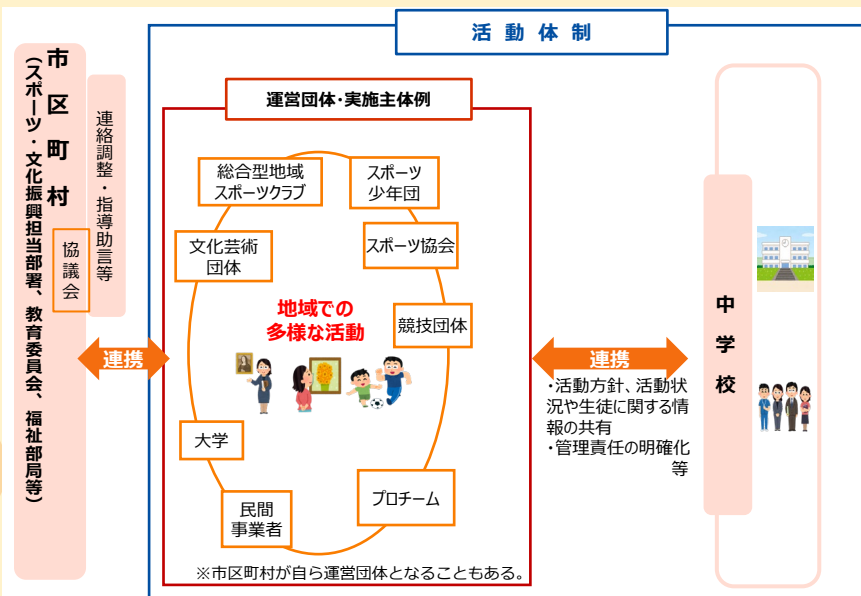
地域の実情に応じ、
当面は併存

休日の地域クラブ活動

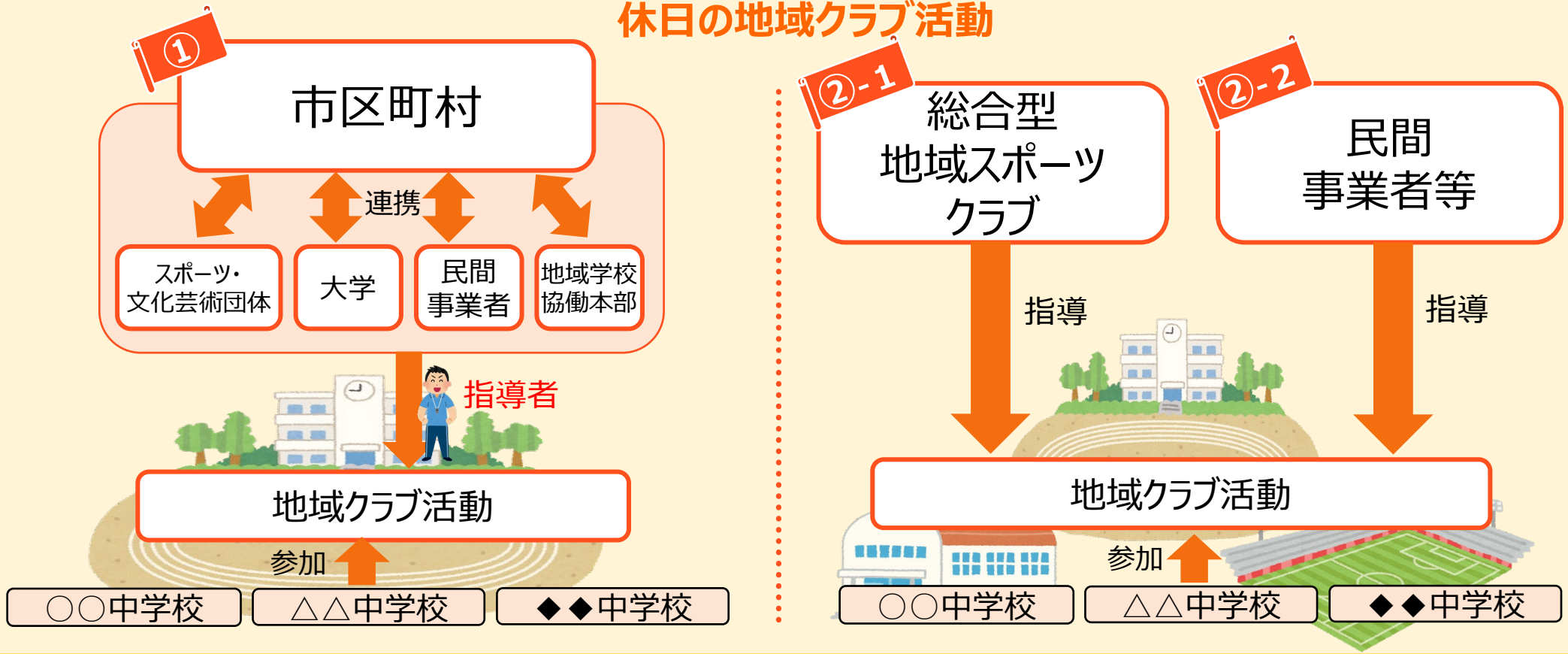
【位置付け】**学校と連携して行う地域クラブ活動**
（法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術）

■ **地域の多様な主体**が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	① 地方公共団体 （※複数地方公共団体の連携を含む） ② 多様な組織・団体 （総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	地域の指導者 （一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等有する施設
費用	可能な限り低廉な会費＋用具、交通費等の実費
補償	各種保険等

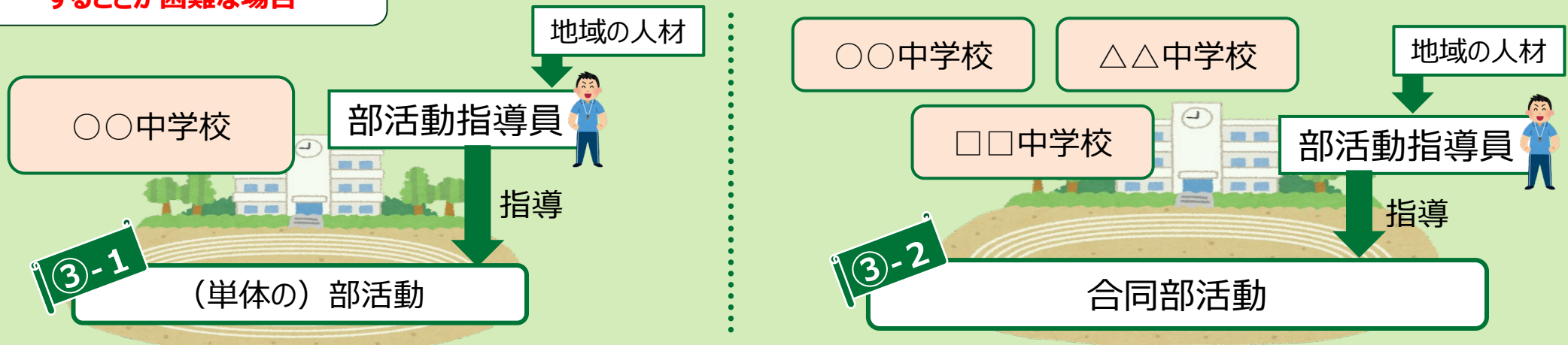


休日の地域クラブ活動



学校部活動の地域連携

※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合



休日の部活動の地域移行に係る手順の流れ（イメージ例）

都道府県

協議会の設置 方針の提示 情報発信

市区町村

協議会の設置
ニーズ・課題把握
情報発信

運営団体の
確保

指導者の確保
マッチング

活動場所の確保
活動内容の決定

生徒・保護者・
住民への周知
実施

〔都道府県：
人材バンクの設置〕

〔学校：教師の兼職
兼業の希望の把握〕

〔学校：学校施設の
開放〕

休日の部活動の地域移行に係る要素（例）

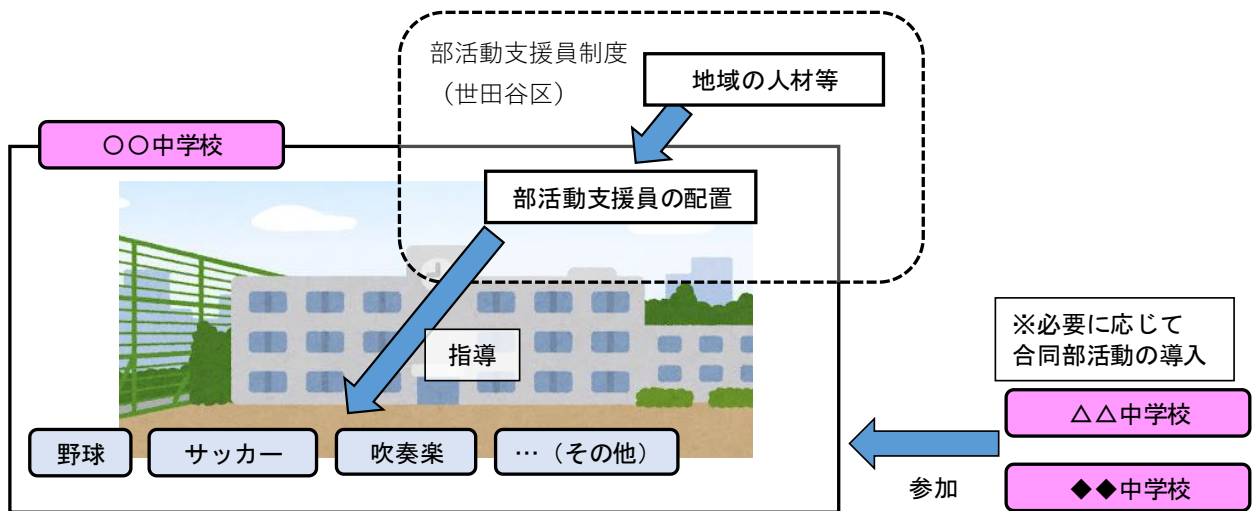
	関係者の巻き込み・合意形成	運営団体の確保	指導者の確保	その他環境整備	実施
都道府県	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・協議会を設置 ・方針の提示 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・都道府県単位のスポーツ・文化芸術団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・指導者の発掘・把握 ・人材バンクの設置 【教育委員会】 ・兼職兼業の規定・運用の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 【協議会】 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を広く周知
市区町村	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・教育委員会等とも連携し、協議会を設置 【協議会】 ・関係者へのヒアリング等を実施 ・ニーズ・課題を把握 【スポーツ・文化主管課】 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署・協議会】 ・地域スポーツ・文化活動を担う運営団体を確保 【協議会】 ・運営団体との連携体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 【協議会】 ・人材バンクの活用 ・地元の民間企業・大学等との連携 ・地域人材の掘り起こし 【協議会】 ・運営団体・実施主体とのマッチングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【協議会】 ・学校施設や社会教育施設等の活動場所を確保 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定 【協議会】 ・地域クラブ活動における活動内容を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を周知し、実施
スポーツ・文化芸術団体、民間事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記協議会への参画 ・上記ヒアリングの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記取組への協力・参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクへの人材登録 ・研修等を通じた指導者の質・量の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 【運営団体】 ・地域クラブ活動における具体的な活動内容を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 【運営団体】 ・活動を周知し、実施
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・上記協議会への参画 ・教師のニーズ把握 ・生徒・保護者のニーズ把握 		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の兼職兼業の希望の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用ルールに基づく学校施設の開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有 ・地域クラブ活動について周知

地域資源を活用した地域クラブ活動等のパターンについて

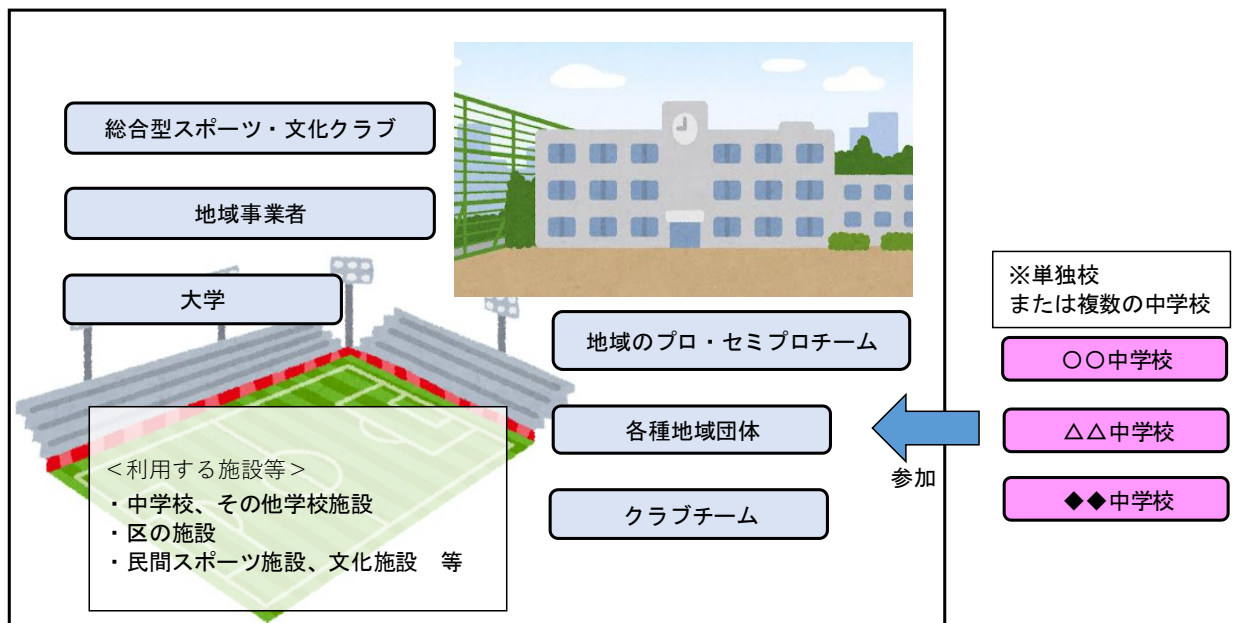
「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」にある「学校部活動の地域連携」及び「地域の運営団体・実施主体による地域クラブ活動」のイメージは、世田谷区においては次のとおりと考えられる。

地域クラブ活動においては、世田谷区は地域資源が豊富であることから、これらの多様な組織・団体を運営団体とすることが想定される。

A 学校部活動の地域連携



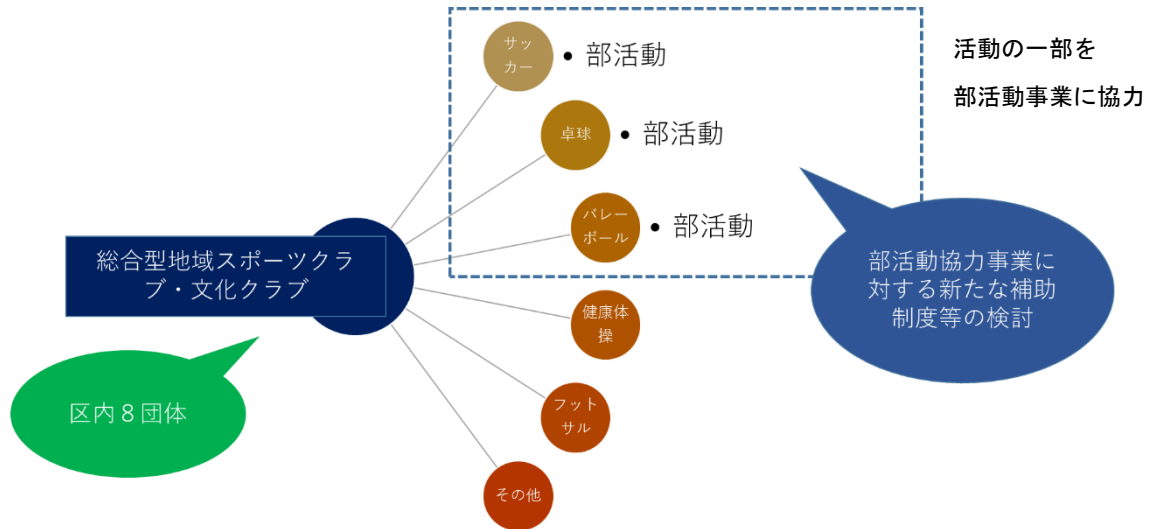
B 地域の運営団体・実施主体による地域クラブ活動



世田谷区の学校部活動の地域連携、及び多様な組織・団体で運営団体とした地域クラブ活動については、次のパターンが想定される。

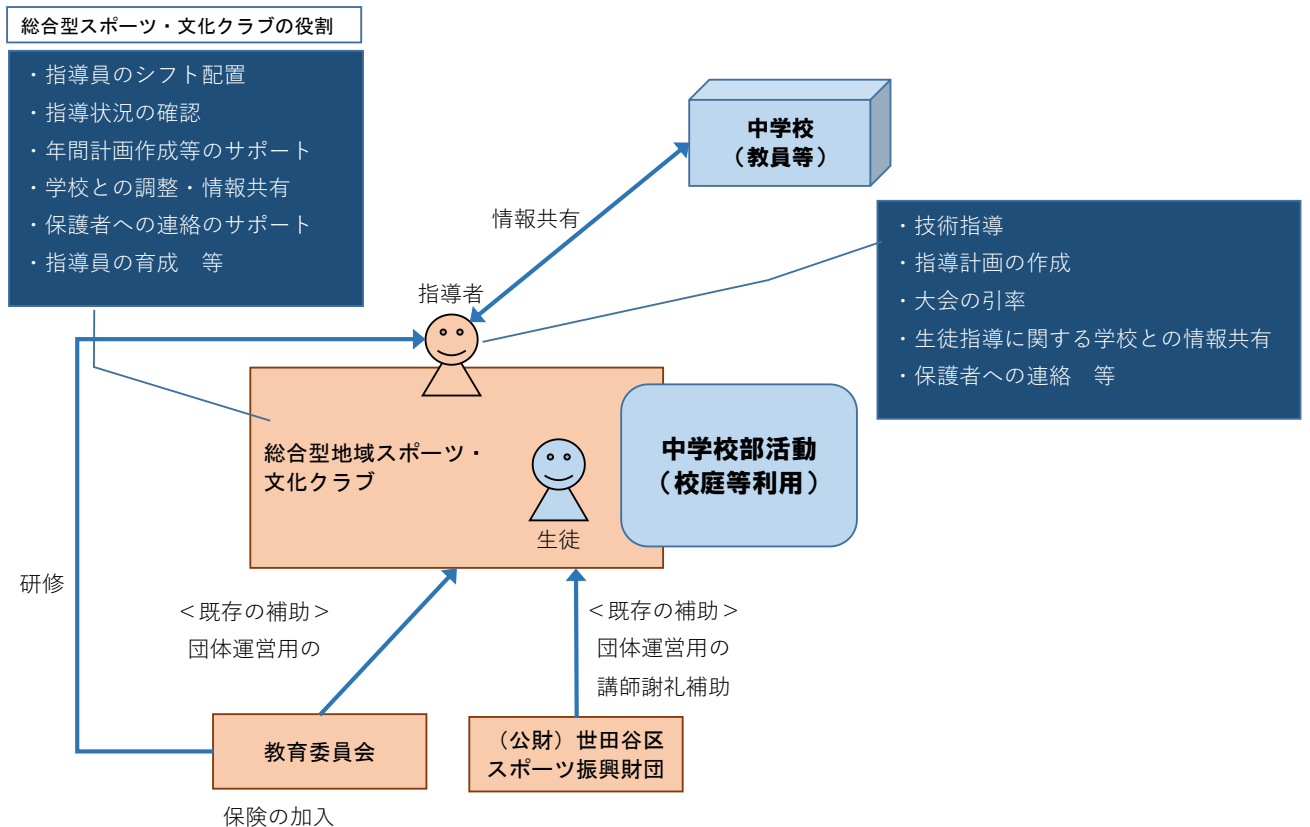
パターン1 総合型スポーツ・文化クラブ連携型

- ・総合型スポーツ・文化クラブの活動の一部で、中学校部活動への技術指導を行う。
- ・指導者の配置については、部活動支援員の活用も可能。



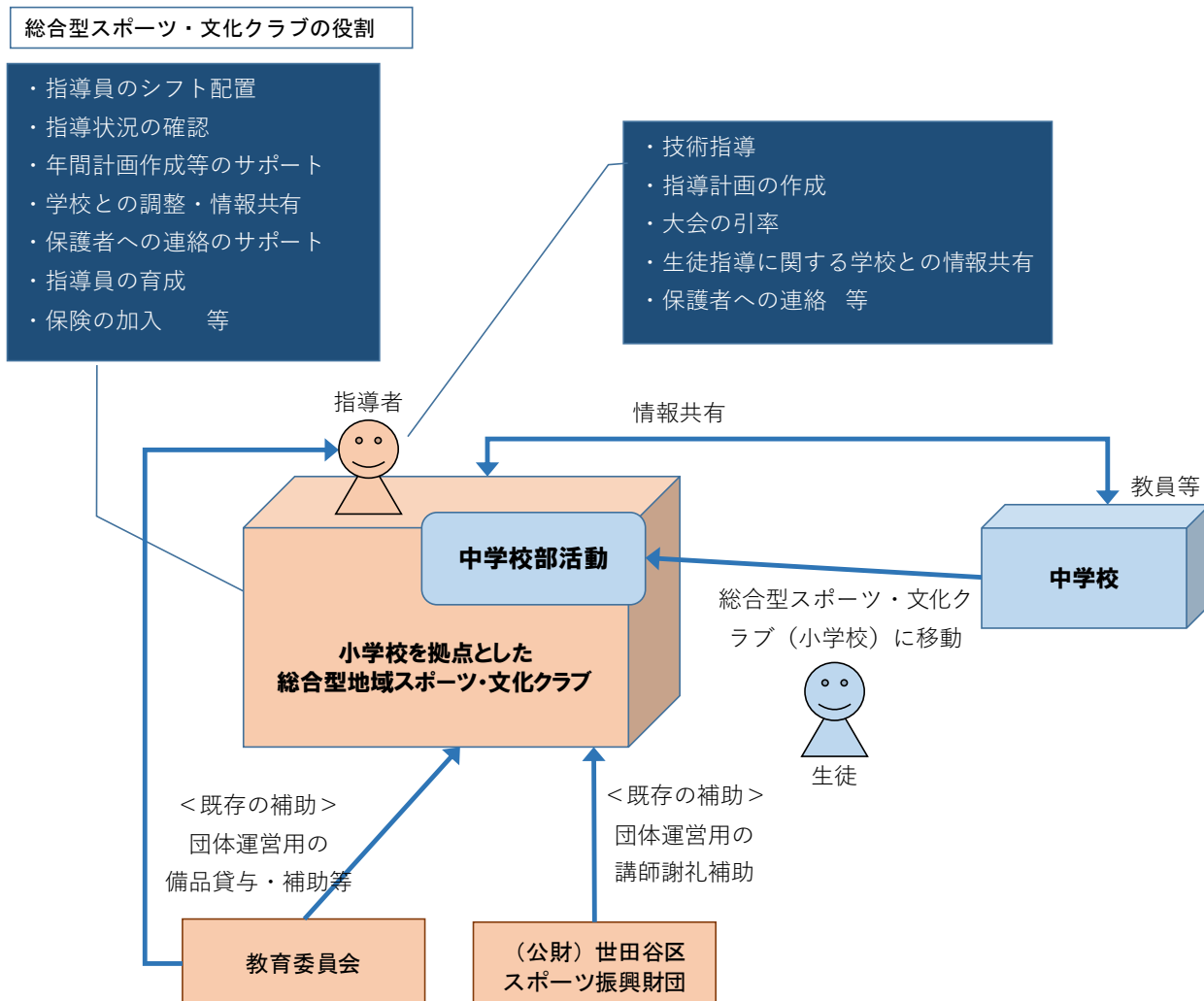
<①総合型地域スポーツ・文化クラブ（中学校拠点）>（イメージ）

- ・中学校拠点の総合型地域スポーツ・文化クラブによる部活動は、移動せずに参加が可能。



＜②総合型地域スポーツ・文化クラブ（小学校拠点）＞（イメージ）

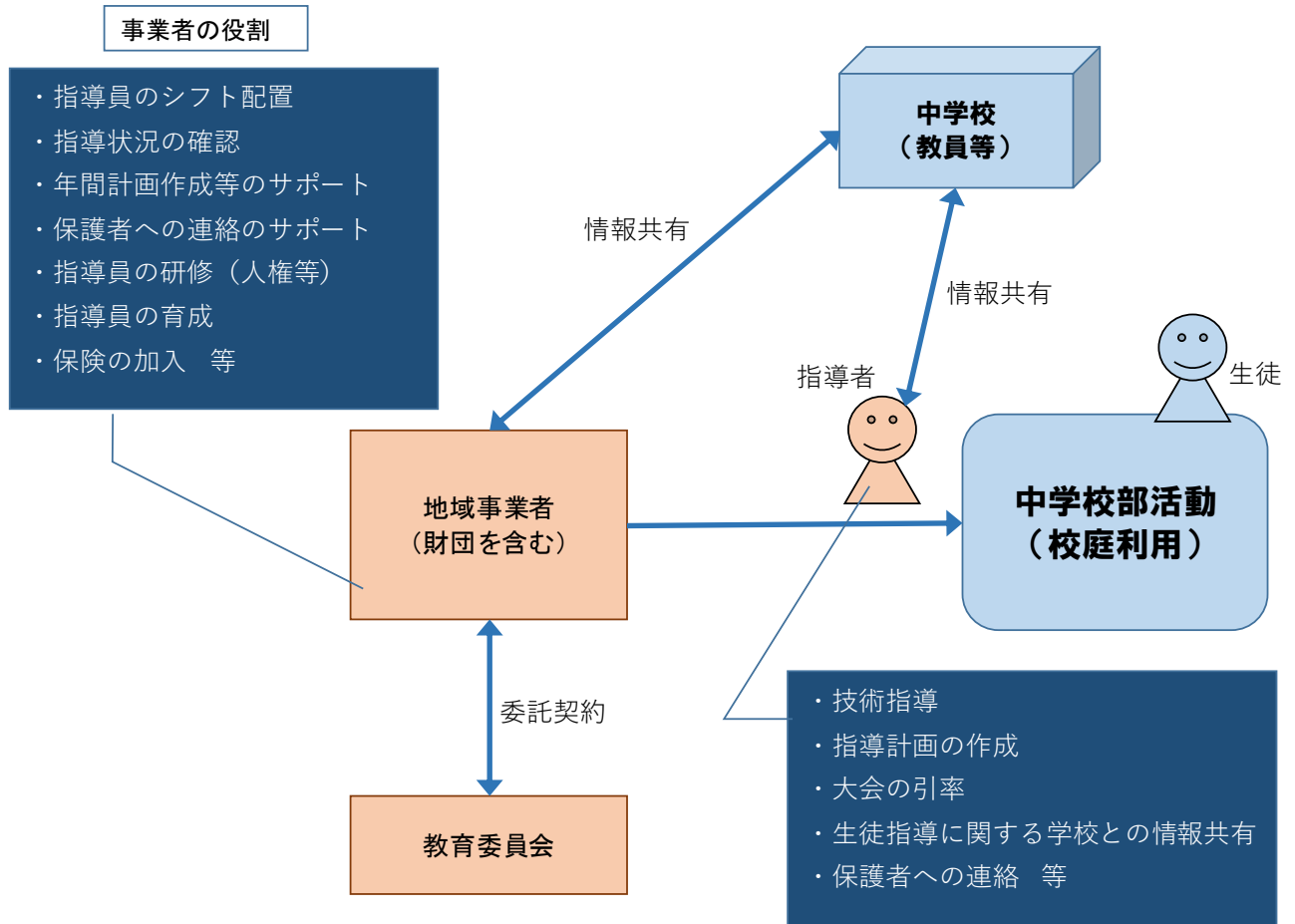
- ・小学校を拠点とする総合型地域スポーツ・文化クラブの場合、「学び舎」の中学校部活動に活用。また、近隣の中学校と共同の部活動とすることも可能。



パターン2 地域事業者連携型

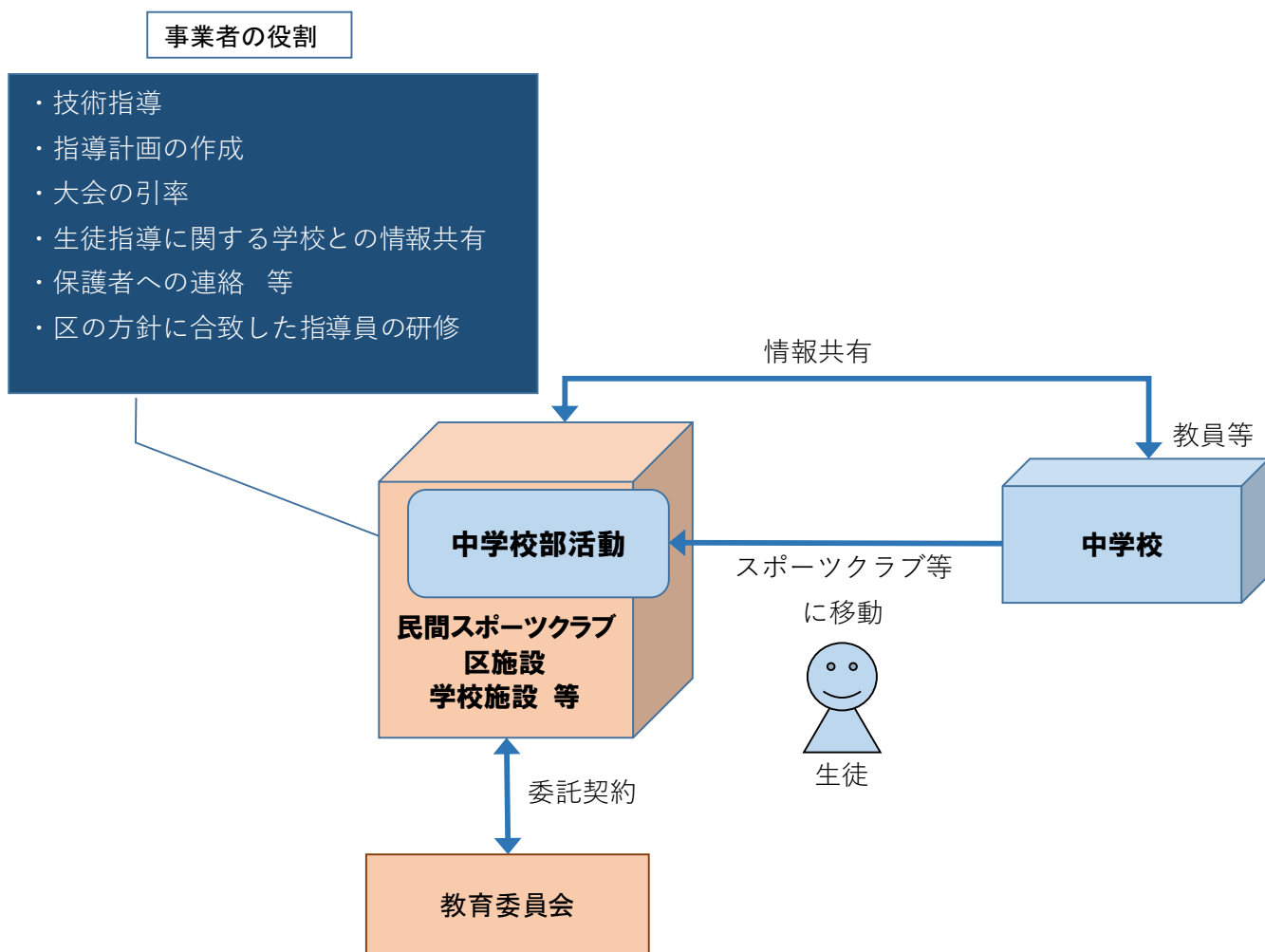
- ・事業者による部活動には、「①事業者が指導員を学校に派遣する形態」と「②スポーツクラブ等を活用する形態」が想定される。
- ・事業者は、指導者を派遣するだけでなく、コーディネート機能も含めて履行可能である。

<①事業者が指導員を学校に派遣する形態> (イメージ)



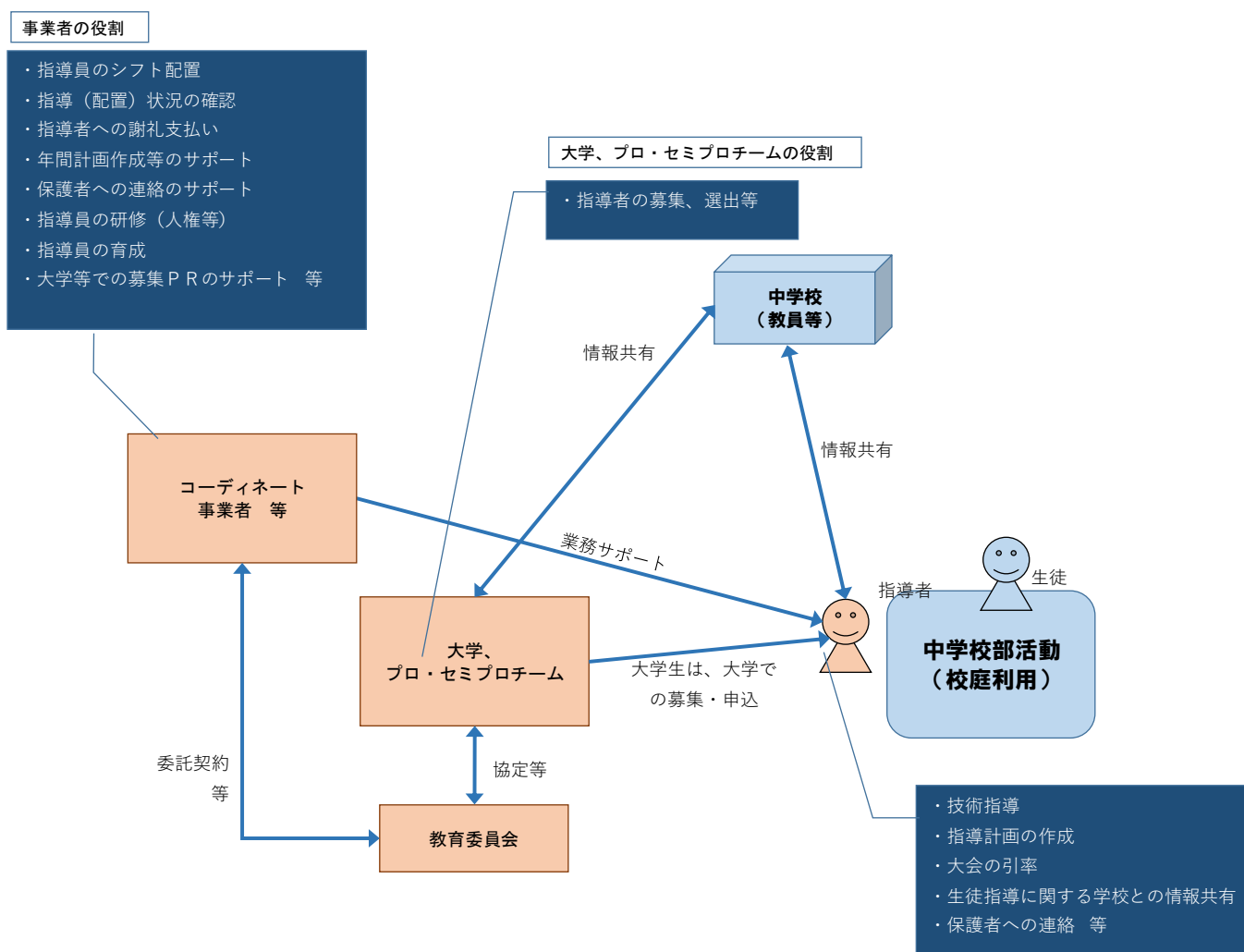
＜②生徒がスポーツクラブ等に通う形態＞（イメージ）

- ・部活動参加のための、生徒の移動が必要となる。



パターン3 大学連携、プロ・セミプロチーム連携型

- ・大学生の指導者の配置にあたっては、いわゆる「コーディネート機能」を大学が担うことは難しいと考えられる。別に、指導者シフト管理、履行確認、謝礼の支払い、会費管理、指導業務のバックアップサポート、研修等を実施するコーディネート機能が必要である。
- ・大学生の指導員配置については、持続性を確保するために、大学で募集、申し込みをする仕組みを構築する必要がある。コーディネート事業者同事務のサポートを依頼することも有効と思われる

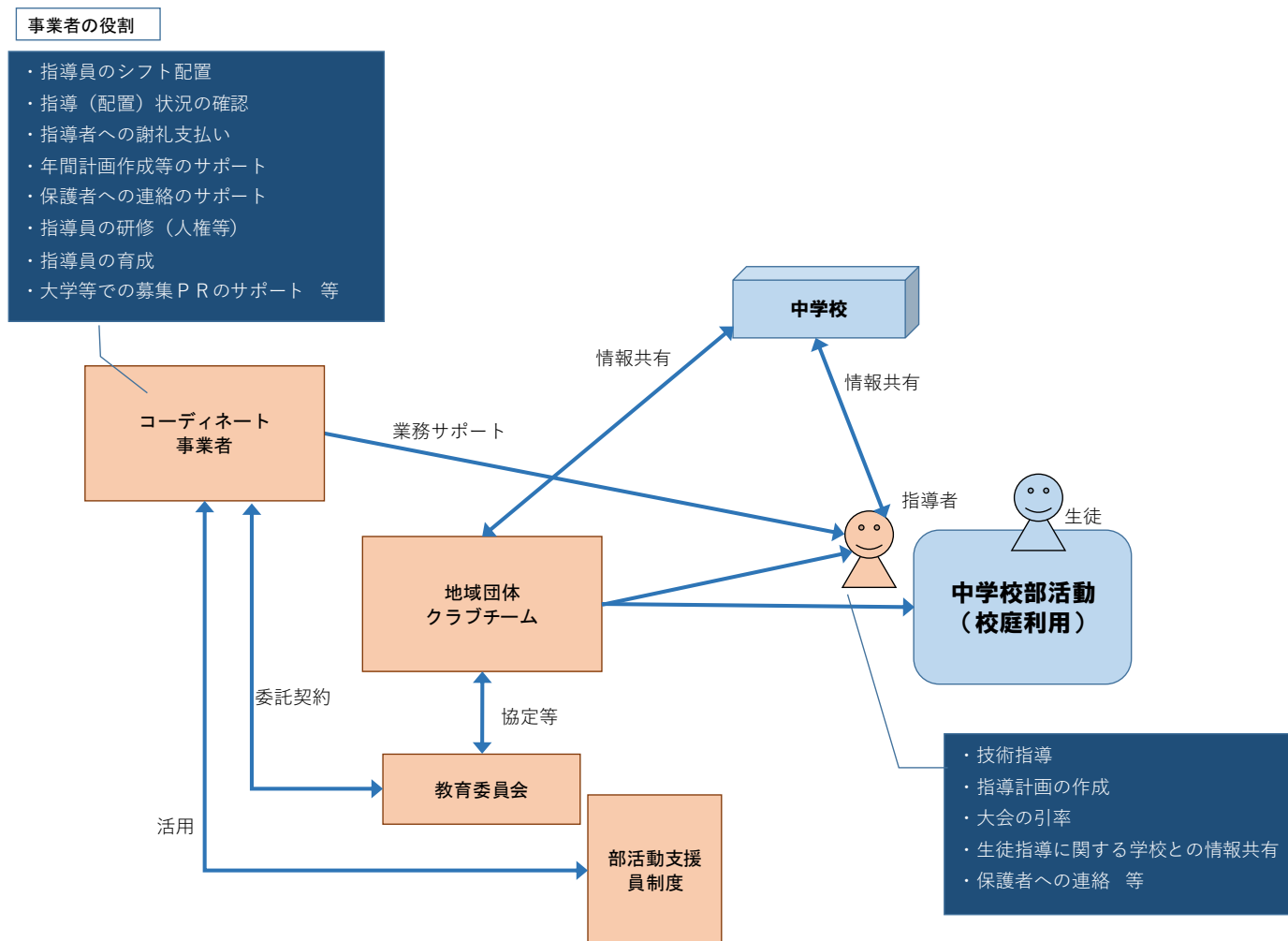


- ・プロチーム、セミプロチーム等は、コーディネート機能を担うことは不可能ではないが、その場合、経費的に、地域事業者のパターンと変わらなくなる。

パターン4 地域団体・クラブチーム等連携型

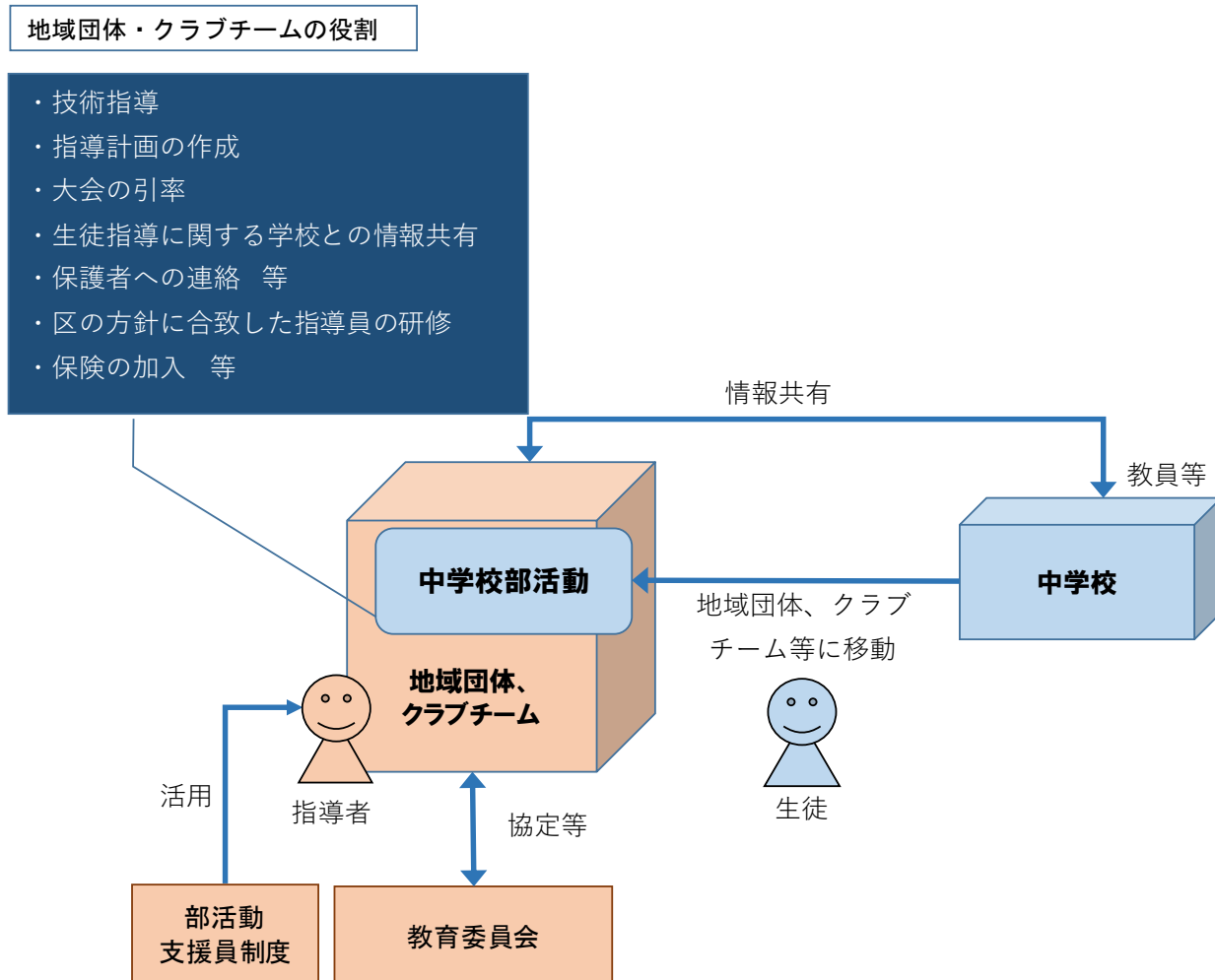
- ・クラブチームは、「①指導員を学校に派遣する形態」と「②生徒がクラブチームの活動場所に移動する形態」が想定される。
- ・地域団体による部活は、文化系が多いと思われるが、同様に「①指導者を学校に派遣する形態」と「②生徒が団体の活動場所に移動する形態」が想定される。
- ・クラブチームの「指導者派遣の形態」の場合、いわゆる「コーディネート機能」をクラブチームが担うことは難しいと考えられる。別に、指導者シフト管理、履行確認、謝礼の支払い、会費管理、指導業務のバックアップサポート、研修等を実施するコーディネート機能が必要がある。

<①指導員、指導者を学校に派遣する形態> (イメージ)



＜②生徒がクラブチーム、団体の活動場所に移動する形態＞（イメージ）

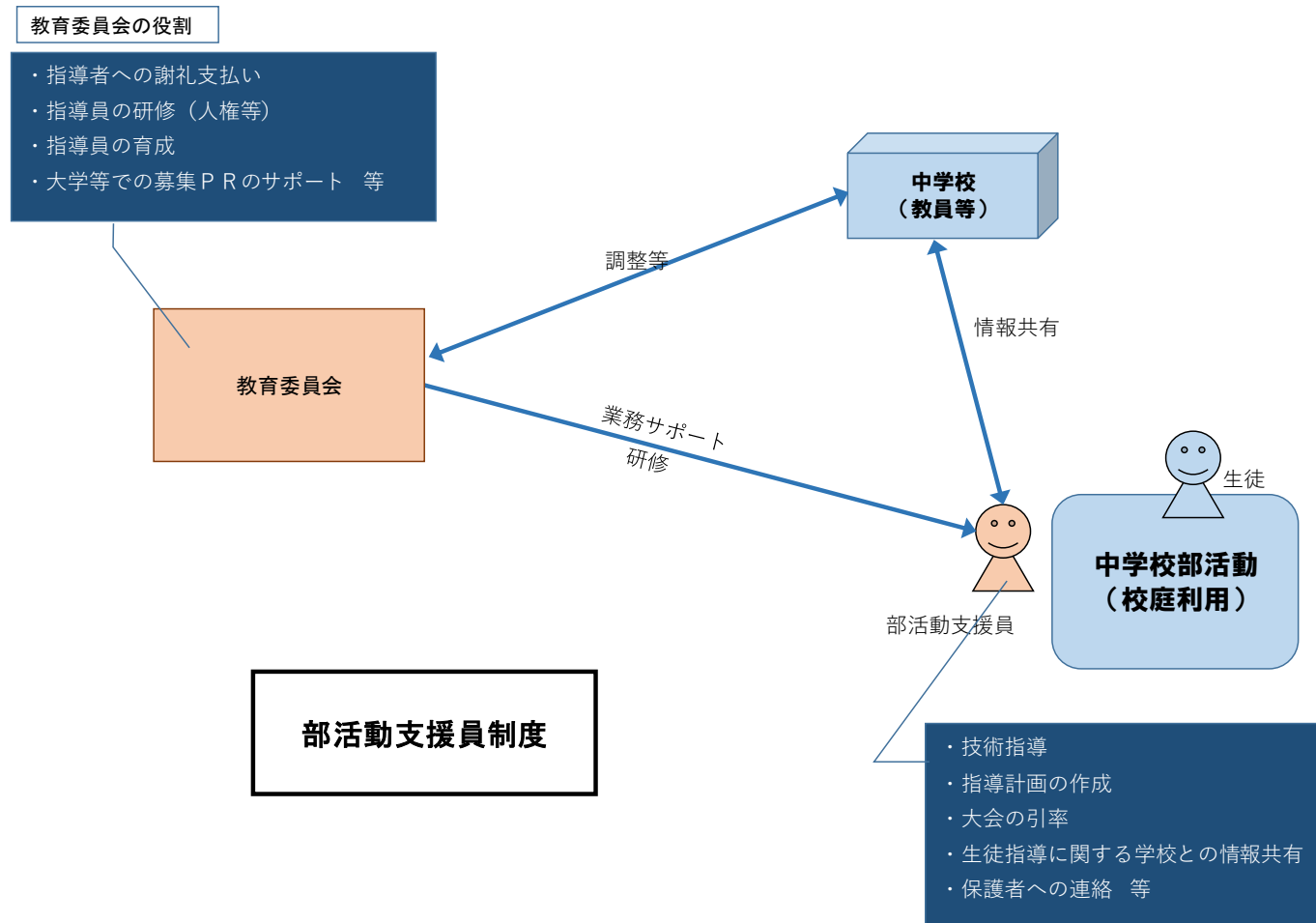
- ・部活動参加のための、生徒の移動が必要となる。
- ・例えば、文化系の活動等で、少人数で参加するものなど、「部活動として認めるのかどうか」のルール作りが必要となる。



パターン5 部活動支援員等活用型（A 学校部活動の地域連携）

・パターン1～4で対応できない部活動については、部活動支援員制度を活用してはどうか。

<部活動支援員等活用>（イメージ）



地域移行に伴う諸課題について
(検討部会の意見より)

1 専門的な指導者の確保

部活をやっていて、大変だなと思うときは？（中学生）

- 顧問の指導力がない（専門知識がない）。

部活をやっていて、大変だったなと思うことは？（高校生・大学生）

- 顧問に競技に関する専門知識がなかった。

こんな部活だったらもっといいのに・・・（中学生）

- 練習内容の工夫。
- まわりに大人がもっといてほしい。もっと大人の指導を受けたい。相談をしたい。

部活動の地域移行について（中学生）

- 複数の指導者から指導を受けることになり、意見が違っていると迷うと思う。
- 地域移行でレベルの高い指導を受けられるのはよい。

2 活動環境の充実

部活をやっていて、大変だなと思うときは？（中学生）

- 部活の魅力をPRする機会がない（発表の機会等）。

こんな部活だったらもっといいのに・・・（中学生）

- 同じ実力のある者同士でチームを組みたい。同じ実力のチームと試合をしたい
- 練習の機会・時間がもう少し増やせるといい。
- 設備の充実
 - ・競技専用の施設
 - ・やる気が上がるような環境
- 校庭の明かりが暗く、冬の活動が制限されているので、明かりが増えると良いと思う。

3 学校生活との両立

部活をやっていて、大変だなと思うときは？（中学生）

- 練習がきつい。
- 休みがない。

部活をやっていて、大変だったなと思うことは？（高校生・大学生）

- 先輩があまりいなかったので、相手チームへの挨拶等の礼儀に苦労した。

こんな部活だったらもっといいのに・・・（中学生）

- 休みがちゃんと（規則正しく）あった方がよい。
- 勉強との両立を図りたい。

部活動の地域移行について（中学生）

- 挨拶や礼儀を教えるのも部活。そういう機能が地域移行でなくならないようにしてほしい。

4 部活動における良好な人間関係

部活動について「もっとこんな風だといいいのに」と思うことは何ですか。（中学生）

- 「もっとみんなで高めあおう」と思いながら、ライバル意識をもつ。一方で、楽しくみんなで目標に向かって走っていける風なのがいいなと思う。

部活動の地域移行について（中学生）

- 他校の交流は良い面があるが、人間関係が大変そう。
- 部活はその学校の伝統。生徒がやりたいことをやるのが部活なので、どちらかが嫌な思いをするのでは。
- 合同チームはカラーが違って、かみ合わない。

5 多様な部活動の内容

部活動の地域移行について（高校生・大学生）

- 活動が厳しくない部活があってもよい。中学時代、自分の部をやめた人は、ゆるい部活に移る人が多かった。そういう部活があるほうがよい。
- 自由に参加できる部活があるとよい。スポーツ自体を純粹に楽しみたい人もいた。

6 大会の在り方

部活をやっていて、大変だなと思うときは？（中学生）

- 大会の当日、顧問・外部コーチに相談できない。
（試合の審判担当等、大会運営に関わらなければならないため）。

7 会費・自己負担の在り方

部活動の地域移行について（中学生）

- 吹奏楽部は楽器の運搬があるので、大変。
- 交通費が負担になる。
- 人数の多い部活は、移動の時に迷惑になりそう。

8 保険の在り方

部活動の地域移行について（中学生）

- 吹奏楽部は楽器の運搬があるので、大変。

9 悩みごとの相談先の確保

部活をやっていて、大変だなと思うときは？（中学生）

- スランプのときはやめたいと思う。
- 人間関係
 - ・部内がまとまらない
 - ・下級生とのコミュニケーション
 - ・合同チーム内のまとまり

部活をやっていて、大変だったなと思うことは？（高校生・大学生）

- 部員をまとめるのが大変だった。

こんな部活だったらもっといいのに・・・（中学生）

- まわりに大人がもっといてほしい。もっと大人の指導を受けたい。相談をしたい。

10 教員の兼職兼業

部活動の地域移行について（中学生）

- 顧問が熱心なので、指導者が他の人になると残念。
- 顧問の先生ならば、学校行事やテストなどに気を使ってくれる。

「世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会報告書」項目（案）

令和5年3月

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

目次

はじめに

第1章 中学校部活動地域移行の背景

1. 1 スポーツ庁における提言

1. 2 文化庁における提言

1. 3 経済産業省における提言

1. 4 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

第2章 区立中学校部活動における現状と課題

2. 1 部活動の現状

2. 2 生徒の視点（アンケート結果）

2. 3 保護者の視点（アンケート結果）

2. 4 学校の視点（アンケート結果）

第3章 検討部会の実施結果

3. 1 中学生、高校生、大学生委員による意見の報告

第4章 区立中学校部活動地域移行に係る検討及びまとめ

4. 1 区立中学校部活動地域移行の目指すべき方向性

4. 2 地域資源の活用

4. 3 地域移行にあたっての課題

第5章 検討委員会が提案する地域移行の取組み等

5. 1 地域移行の想定パターン

5. 2 課題解決の方策

5. 3 継続的な検討について

資料編

- 1 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱
- 2 関連法規（抜粋）
- 3 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会委員名簿及び開催実績
- 4 検討部会の意見回答集計結果
- 5 アンケート集計結果 など